

「基本方針」(案)

笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力を育てる

現代は将来の予測が困難な時代であり、その特徴である Volatility (変動性)、Uncertainty (不確実性)、Complexity (複雑性)、Ambiguity (曖昧性) の頭文字を取って「VUCA」の時代ともいわれています。現在の子どもたちは、将来において、少子化・人口減少、気候変動などの地球環境問題、グローバル化の更なる進展や AI・ロボットの発達などの様々な社会課題をはじめ、現代からは予想だにしない時代の変化にも対峙していくことになります。

そのような予測困難な時代においても、私たちがめざすべき社会は、一人ひとりが他者、あるいは社会とのつながりの中で、笑顔があふれ、幸せや豊かさといったあたたかさを実感できる社会であるべきです。今の教育には、子どもたちが未来社会において、希望をもって自己実現を図り、自立した社会の形成者として、みんなで力をあわせて、より良い社会を築いていくための力を身に付けさせることが求められています。

そのため、子どもたちには、社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、課題解決していく意欲や資質・能力を育てることや、自分自身の幸せ、地域や社会全体の幸せや豊かさを追求する姿勢を育む教育を行う必要があります。これには、学校はもとより、家庭、地域など、子どもたちにかかわる多様な人々、組織とのつながり、ふれあいの中での学び、働きかけや支援が不可欠であり、社会全体が一丸となって、必要な教育施策を着実に実行していくことが求められます。

そこで、新たな教育ビジョンの基本方針を「笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力を育てる」としました。教育基本法が掲げる「人格の完成」を目指し、生きていく上で基礎となる「知・徳・体」の調和のとれた豊かな人間性をはぐくむとともに、その基盤の上に成り立つ、みんなの幸せな未来を創造する力の育成を図ってまいります。

「基本目標」(案)

基本目標1 持続可能な社会を創り出すグローバル人材を育成します

将来の予測が困難な時代において、よりよい未来社会を創るためには、一人ひとりが主体的に課題解決を図り、持続可能な社会を維持・発展させていく必要があります。

このためには、まず、生きていく上で基礎となる確かな学力や豊かな心、健やかな体を育むことが必要です。

学力では、知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等を育成します。また、豊かな心を育むため、責任感、規範意識などの道徳性、豊かな情操や感性等を醸成します。さらに、生涯にわたってたくましく生きるための体力、健康づくりを進めます。これらを調和的に育成することで、生きていくうえでの土台となる基礎的な力を着実に育みます。

その上で、地球規模の諸課題を自らに関わる問題として捉え、「SDGs 未来都市」にふさわしいグローバルな視野をもって地域社会を担い、持続可能な社会を創り出す力を育成します。また、生成 AI などをはじめとして、めざましい発展、進歩を遂げる科学技術を正しく理解し、使いこなすための情報活用能力についても育成していきます。

さらに、世界とつながる国際都市おおたを担う人材を育成するため、英語力を向上させ、我が国や郷土の伝統や文化を尊重する心を育成するとともに、異なる文化や価値観をもつ相手と積極的にコミュニケーションを取りながら、真摯に向き合い相互に理解しようとする態度や論理的に対話する力、粘り強くやりぬく力を育成していきます。

これらの力を駆使することで、世界を視野に新たな価値を創造し、様々な社会課題を解決することができるグローバル人材を育成していきます。

基本目標2 誰一人取り残さず、子どもの可能性を最大限に引き出します

子どもたちは、誰一人として同じではなく多様性と無限大の可能性を秘めています。

その可能性を最大限に引き出すためには、児童・生徒一人ひとりの最適な学びの実現が重要であり、教師が児童・生徒の学習意欲を引き出す授業を行い、主体性をもった学びにつなげていく必要があります。そこで、授業研究、授業改善等の手法に教育データの活用を取り入れ、客観的に授業のあり方を見直すなど、学びの動機付けや「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業を改善し、新たな授業モデルを構築していきます。

また、教師が備えるべき資質・能力をもつとともに、本来行うべき業務に集中できる体制を整え、児童・生徒に向き合う時間を確保することで、教師が教育職の本来の魅力を再確認し、誇りとやりがいをもって、意欲的に業務に取り組める環境を構築します。これらの取組を通じ、児童・生徒、教師の双方にとって笑顔と活気のあふれる学校づくりをめざします。

障がいや不登校、日本語能力など様々な困難を抱える児童・生徒に対し、それぞれの抱える困難に応じてきめ細かに対応することは重要です。児童・生徒が抱える困難は多様化・複雑化しているため、学校の組織的な対応力や教育機関の相談・支援体制を強化するとともに、関係機関や家庭、地域とも連携、協力した対応を進める必要があります。社会全体での組織的な対応力を高めることで、児童・生徒一人ひとりに寄り添い、誰一人取り残さず、全ての児童・生徒の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育を推進します。

施設・設備の面では、児童・生徒の可能性を最大限に引き出すための学習環境を整えていくことが重要です。そのため、時代の変化に対応し、児童・生徒にとって柔軟で創造的な学習空間を創出していきます。また、老朽化した学校施設の更新を進め、安全・安心の確保を進めていきます。

基本目標3 全ての区民が未来を担う子どもを育て、共に学び続けます

学校は、子どもたちが生涯を豊かに生きるための基礎的な学力を育む場であるとともに、様々な体験を通じて、社会生活を営む上での力を育む場でもあります。また、コロナ禍で余儀なくされた学校の臨時休業の際には、家庭や子どもたちの生活に影響が生じるなど、これまで学校が果たしてきた福祉的な側面も浮き彫りになりました。

このように、学校に求められる役割が多岐に渡る一方、家庭や社会の価値観、生活様式等が多様化することで、学校が抱える課題は、家庭や地域社会の変容を反映し、複雑化・困難化の一途を辿っており、学校だけで多様な課題に対応し、子どもたちの成長を支えていくことが難しい時代になっています。このため、学校が家庭や地域と連携して子どもを育てていくことは、子どもたちの健やかな成長に欠かせないものとなっています。

大田区には様々な地域の特色があり、また、地域活動が活発であることから、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を推進し、地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を活かした学校づくりを進めます。このような学校づくりを通じて、学校・家庭・地域の連携・協働により、地域全体で未来を担う子どもを育てていくとともに、地域とのかかわりを通して地域への愛着や誇りを育み、将来の地域の担い手を育成していきます。

また、人生100年時代では、社会人の学び直しやライフステージの変化に応じた学びなど、生涯を通じてそれぞれのニーズに応じた学習ができるよう、環境を整備する必要性が高まっています。そこで、図書館を子どもから大人まで誰もが生涯にわたって、立ち寄り、憩い、本と触れ合う「知」の拠点として、地域の特色を生かしながら充実させていきます。また、すべての区民が学びを通じて生きがいをもち、人生を豊かにしていくために、多様な学びの機会を提供し、生涯にわたって学び続けることができる環境を創出していきます。

「個別目標」(案)

目標1 予測困難な未来社会を創造的に生きる力を育成します

社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、行動していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成していきます。

目標2 世界とつながる国際都市おおたを担う人材を育成します

英語でのコミュニケーション能力を着実に高めるとともに、我が国や郷土の伝統や文化に触れ、尊重する心や、異なる文化や習慣、考え方を理解した上で合意形成を図ったり、協力していく態度を育成していきます。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を育成していきます。

目標3 一人ひとりが個性と能力を発揮しながら生きていく上で基礎となる力を育成します

児童・生徒が豊かな人生を生きていく上で基礎となる力として、基礎的・基本的な知識・技能や思考力・判断力・表現力等という確かな学力、正義感や自己肯定感、他者を思いやる心などの豊かな心、運動習慣の定着や生涯にわたって健康増進を図る意識の向上等といった健やかな体を育成していきます。

目標4 学校力・教師力を向上させます

児童・生徒の学力向上につながる新たな授業モデルを構築し、教員の授業力向上を図るとともに、研修の充実等により教員が備えるべき資質・能力を高めていきます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上させていきます。あわせて、教員が児童・生徒に向き合う時間を確保するため、働き方改革等によりやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。

目標5 一人ひとりの個性と能力を引き出す学びを支援します

児童・生徒が抱える困難が多様化・複雑化する中で、困難を抱える児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整え、学びを支援するとともに、相談機能の充実を図ることで、誰一人取り残さず、全ての児童・生徒の可能性を引き出す教育を推進していきます。

目標6 柔軟で創造的な学習空間と安全・安心な教育環境をつくります

学校施設について、時代の変化に対応した教育環境の向上と老朽化対策の一体的な整備を推進するとともに、防災機能の強化と環境負荷低減を図ってまいります。また、ICT環境など学習環境をさらに充実させるとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進していきます。

目標7 学校・家庭・地域の連携・協働による地域コミュニティの核としての学校をつくります

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を推進し、地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を活かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域全体で子どもたちを育成していきます。

目標8 生涯学び続ける環境をつくります

人生 100 年時代において、すべての区民が学びを通じて生きがいをもち、人生を豊かにしていくために、地域の特色を生かした図書館を整備していくとともに、多様なニーズに応じた学習機会を提供し、生涯にわたって学び続けることができる環境を創出していきます。